

## 生物多様性に配慮した施設を評価する「ABINC認証」の 事前相談を9月4日、申請受付を10月2日より開始します。

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会[英文名: Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community=略称ABINC(エイビंक)]は、生物多様性に配慮した工場やオフィスビル、商業施設や集合住宅(マンション)を対象とし、評価する「いきもの共生事業所®認証(通称: ABINC認証)」の申請受付を10月2日より開始いたします。また認証に関する事前相談は、9月4日より開始いたします。申請事業者の方はもちろん事前相談をお受けください。(※事前相談は無料です)

本認証は、自然と人との共生を企業活動において促進することを目的としており、今回の認証が5回目となります。一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)の「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」に基づき、生物多様性に配慮した緑地づくりなどに取り組む工場、オフィスビル、商業施設、集合住宅を、評価・認証します。

### 【 ABINC認証の概要 】

- **対象**: 工場、オフィスビル、商業施設、集合住宅(マンション)等、企業の自社所有(共同所有含む)建築物(新築・既存問わず)等(以下。「建築物等」とします。)で、その建築物自体または敷地に生物多様性に配慮した緑地を計画、または配置しているものとします。
- **申請者**: 対象建築物等の所有者または設計・施工・コンサルティング等に従事した者で、ABINCが主催する、いきもの共生事業所®推進ガイドライン講習会修了者としてします。
- **申請に必要な書類**: ABINC講習会修了者専用ページからダウンロードしてください。
- **事前相談**: 申請事業者の方はもちろん事前相談を受けてください。手続き、提出書類、評価方法等をご説明いたします。事前相談は無料です。
- **審査方法**: いきもの共生事業所®推進ガイドラインに基づいてABINC審査会が申請書類審査にて行います。(現地審査は行いません。)
- **認証書の交付及び公表**: ABINCホームページにて認証結果を公表します。
- **認証表示**: 認証を受けた申請者は対象建築物等に認証ロゴを表示することができます。
- **有効期間**: 認証書交付日から起算し3年とします。ただし、竣工前の対象建築物等については、竣工日から起算し3年とします。
- **申請費用**: 43万2,000円/税込(上記施設所有者や申請者がJBIB等関連企業、ABINC会員企業の場合は32万4,000円/税込)
- **スケジュール(予定)**

・2017年9月4日～	認証に関する事前相談開始(ABINC事務局)
・2017年10月2日(～11月30日)	申請書類受付、個別調整(ABINC事務局、審査会)
・2017年11月30日	申請受付締切り
・2017年12月中旬	審査会(1次審査)
・2018年1月中旬	認証委員会(最終審査)
・2018年2月中旬	審査結果発表(ABINCホームページ)および認証証交付

問合せ: ABINC事務局(株式会社インターリスク総研) 安斉(アザイ)・宇野澤(ウノサワ)  
TEL: 070-6457-2261 e-mail: info@abinc.or.jp ホームページ: <http://www.abinc.or.jp/>

**【 ABINC概要 】**
**■名称：**一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

**[**英文名：Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community＝略称ABINC（エイビंक）**]**
**■設立：**2013年12月25日

**■理事、監事および顧問**

代表理事：中静 透	(東北大学大学院生命科学研究科教授)
理事：亀山 章	(公益財団法人日本自然保護協会理事長、東京農工大学名誉教授)
理事：森本 幸裕	(京都学園大学教授、京都大学名誉教授)
理事：黒田 大三郎	(公益財団法人地球環境戦略研究機関シニアフェロー)
理事：足立 直樹	(一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ事務局長)
理事：原口 真	(一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ顧問)
監事：梶谷 修	(一般社団法人日本環境アセスメント協会会長)
顧問：川延 昌弘	(一般社団法人CEPAジャパン代表)
顧問：窪木 登志子	(窪木法律事務所 弁護士)

**■事務局** 株式会社インターリスク総研

**【第4回ABINC認証事業所】** ※過去4回の認証で全45件が認証されています。

認証(新規)施設 名称	主用途	事業者	施設住所
横浜ゴム株式会社 平塚製造所	工場	横浜ゴム	神奈川県平塚市
イオンモール長久手	SC	イオンモール	愛知県長久手市
ザ・パークハウス 国分寺四季の森	集合住宅	三菱地所レジデンス 東京建物/大栄不動産	東京都国分寺市
(仮称)船橋市前原西6丁目計画	集合住宅	三菱地所レジデンス	千葉県船橋市
ザ・パークハウス オイコス 三国ヶ丘	集合住宅	三菱地所レジデンス NIPPO	大阪府堺市
(仮称)横浜市青葉区あざみ野1丁目計画	集合住宅	三菱地所レジデンス	神奈川県横浜市
(仮称)内幸町二丁目プロジェクト	オフィス 他	日本政策投資銀行 ケネディクス/東急不動産	東京都千代田区
(仮称)広島大学跡地「知の拠点」 再生プロジェクト分譲マンション計画	集合住宅	三菱地所レジデンス/三井 不動産レジデンシャル/菱 重プロパティーズ/トータテ 都市開発/広島電鉄	広島県広島市
(仮称)プレミスト湘南辻堂	集合住宅	大和ハウス工業/神奈川中 央交通/長谷エコーポレー ション	神奈川県藤沢市
ドレッセ中央林間	集合住宅	東京急行電鉄/大成有楽 不動産/相鉄不動産 総合地所	神奈川県大和市
認証(更新)施設 名称	主用途	事業者	施設住所
MARK IS みなとみらい	SC	三菱地所/三菱地所リテー ルマネジメント/エムエムデ ィベロップメント	神奈川県横浜市
三井住友海上 駿河台ビル/駿河台新館	オフィス	三井住友海上火災保険	東京都千代田区
イオンモール東員	SC	イオンモール	三重県員弁郡
横浜ビジネスパーク	オフィス	野村不動産	神奈川県横浜市
大手町タワー	オフィス 他	東京建物	東京都千代田区

## 【 ABINCの活動理念 】

生物多様性条約第10回締約国会議（CBD COP10）において採択された愛知目標および生物多様性戦略計画で掲げられた、2050年までの長期目標「自然と共生する世界」の実現と、2020年までの短期目標「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」の実現のために、ビジネスの貢献が求められています。

当法人は、「自然と共生する世界」の実現にビジネスの貢献を推進するために、自然環境と地域共同体への負荷をできるだけ外部化しようとしてきた企業活動のベクトルを反転させ、志をともにする団体と協働して、いきものと人が共生できるしくみを「創造」し、科学的・技術的に「検証」し、「事業化」を推進することを目的として設立されました。活動の第一弾として、JBIB（一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ）が開発した「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」に基づく、オフィスビルと商業施設を対象とした「いきもの共生事業所®認証」（通称：ABINC認証）を2013年度より開始いたしました。

※いきもの共生事業所は、JBIBの登録商標です。